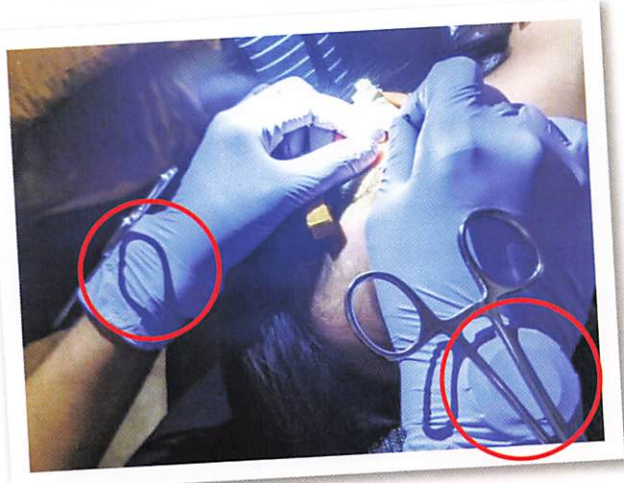


試作品  
開発事例

「マグリスト」医工・産学官連携



ケニアでマグリストを使った治療現場。



伊藤様

マグリストは浜松医科大学 産学連携・知財活用推進センター 伊藤様より開発の話をいただき、同大学 齊藤医師の「救急患者処置時にマグネットを使用することで鋼製小物などの器具の落下を防げるのでは?」というご提案をもとに製作しました。衛生面が整っていない国や限られた人数・スペースでの治療を行う現場で役立つ新しいツールです。

衛生面が劣悪な環境にあり、また処置を行うにも限られた人数・スペースしかない場合は、ハサミや針、鉗子などの器具は片手で持つ必要がありますが、マグリストを使用することで自身の手首に一時的に吸着させることができるようになるため、衛生的かつ少人数で効率的に処置することができるようになります。不意に器具を落とすストレスを軽減でき、消毒や交換の手間も省けるようになります。

実際に、アフリカのケニア共和国とネパールで医療ボランティアを行っている浜松医科大学 大学院生 形岡医師にお使いいただきました。

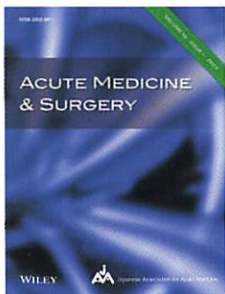
ケーブルキャッチ  
マグネット  
C-937を  
創り変えました!



マグリストは  
日本救急医学会の公式英文誌に  
掲載されました。



商品名である「マグリスト」は  
齊藤医師が名付け親です



記事は  
こちらから



医療現場のケーブルを整理することを目的に開発した強力磁石「ケーブルキャッチマグネットC-937」を創り変えた製品。手首に装着するときには面ファスナーでは付けにくいことから、手首に当てるとばねの力でクルッと巻付くりストバンドタイプに変更しました。デザインにおいては、樹脂ケースの色をスタイリッシュにとのご意見があり、紺色に染色しました。



担当：沼津支店 武藤

浜松医科大学は、人々の健康と医療の未来に貢献することを重要な責務とし、教育・研究・診療機関としての役割を果たすと共に、教育・研究・診療の中から生まれる多くの研究シーズ、知的財産、ノウハウ、暗黙知などの「知」を社会に還元していく産学官連携活動を積極的に進めています。タキゲンはこうした取組みに賛同し、医療の現場でお役に立てるアイデア製品を開発することで、ひいては世界の人々が安心して生活できる環境づくりを目指していきます。